

③ 「三つの話し方」のうちのどの話し方ですか？

実践事例 — 「三つの話し方」のどれにあたるかを、4つの例で考える

指導計画

日常生活の中で誰もが経験する「三つの話し方」。一見したところ、「おどおどさん」「いばりやさん」「さわやかさん」の区別がしにくいやりとりを例にとり、「三つの話し方」の区別をさらに明確にする。

めあて	<ul style="list-style-type: none"> ● 「三つの話し方」のどれにあたるかを友だちと話し合う。 ● 「三つの話し方」の区別の仕方を明確にする。
指導のプロセス	<p>教師は、アサーションを子どもたちに伝えたいという気持ちを明確にすること。子ども同士のコミュニケーションを活性化することを意識すること。個人差を留意し、発言も無理のないように配慮する。日常生活に生かす長期的な視点で行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 「三つの話し方」の確認をする。 いばりやさん、おどおどさん、さわやかさんのスタイルの特徴をふりかえる。 2 4～5人のグループで着席させる。 ワークシートと回答用紙を配布する。回答用紙の記入方法を説明する。 自分の考えを記入してから、友だちの考えを聞き合う。 3 グループでの話し合い。 メンバーの名前を記入する。お互いの考えを自分の回答用紙に書き込む。その回答を選んだ理由を重点に、どういう理由で、どういう感じ方で選んだかを話し合う。グループの答えを1つにまとめる。まとまらない場合は、その結果をそのまま発表する。 4 クラス全体での話し合い。 グループの考えを発表し合う。話し合いの経過を伝える。教師が回答を確認していく。 5 学習のふりかえりをする。 日常の生活の中での「三つの話し方」は複雑であり、自分なりのさわやかさんスタイルの話し方を工夫することを意識づける。
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ● Aさんは、さわやかさんスタイル。わからないことを恥ずかしがらずに尋ねていくことは大切である。Bさんは、おどおどさんスタイル。友だちからの賞賛を素直に受け止め、それに感謝する言葉を返すことができると良い。Cさんは、おどおどさんスタイル。うそをつかずに自分の正直な気持ちを伝えられるとよい。Dさんは、いばりやさんスタイル。相手を無視することは相手を大切にしていない。勉強の邪魔をしないでほしい気持ちを卒直に伝えればよい。



「おどおどさん」「いばりやさん」「さわやかさん」の「三つの話し方」には、それぞれどんな特徴がありましたか。Aさん、Bさん、Cさん、Dさんの話し方が、それぞれ「三つの話し方」のどれにあたるかを考えてみましょう。

授業の流れ

「三つの話し方」って何だったかな

人と話をするとき、「三つの話し方」がありましたね。それぞれどんな話し方だったかな。

いはいやさんは…

「自分のことを大切に、相手のことを大切にしません」

4つの場面を見よう

「おどおどさんは、自分を大切にしないで、相手を大切にします」

これから4つの場面のやりとりを、順番に読んでみます。

絵をかくの
上手なんだね

それぞれの場面に登場するAさん、Bさん、Cさん、Dさんは、「三つの話し方」のうちのどの話し方をしているでしょう。

そんなことないよ
下手だよ

前の時間に、子どもたちは「三つの話し方」のまとめをし、それぞれを「いばりやさん」「おどおどさん」「さわやかさん」と呼ぶことにしました。そして、実際に「三つの話し方」をロールプレイで演じ、話し方の違いを体験しています。

4つの場面でのやりとりが書かれたプリントが配られました。それぞれAさん、Bさん、Cさん、Dさんが登場します。場面設定が少し複雑になり、一見したところ「さわやかさん」なのか「おどおどさん」なのか「いばりやさん」なのか区別しにくくなっています。



誰がどんな話し方をしているか、いろいろと意見が分かれたようですね。それぞれどういう理由で選んだのか、どういうことを感じたか、グループで話し合ってみましょう。

自分の考えを書こう

4つの場面には、授業中わからないところがあって「もう一度説明してください」と言ったAさん、優秀賞に選ばれたポスターをほめられ「そんなことないよ」と答えたBさん、遊びたくない友だちに誘われて「お母さんと買い物に行く」とうそをついて断ったCさん、宿題の最中、遊んでいる弟が腹立たしくなり、弟の頼みを無視したDさんがそれぞれ登場しています。



Aさん、Bさん、Cさん、Dさんの話し方はどれにあたるでしょう。自分の考えを書いてみましょう。

Aさんは
おとあつさんかな

わたしだったら
なんていうかなあ...

グループで相談しよう

グループの中でお互いの考えを発表し合います。どの場面においても、グループ全員の意見が一致したところは少なかったようです。子どもたちはお互いの意見を聞くことで、もう一度自分の考えを深めることができました。

はあかしそうに
してるから
おとあつさんじゃ
ないかな

いろいろな面から
意見を出してみよう。



Cさんはちょっと難しかったようですね。実はおどおどさんです。うそをついて、遊びたくないという自分の本当の気持ちを伝えられなかったからです。うそをつかずに自分の正直な気持ちを伝えられるといいですね。

みんなで話し合おう

Aさん、Bさん、Cさん、Dさんの話し方はどれだと思いますか。自分が思ったところに手をあげてください。

おとあつさんに
反対です
なせなら...

どうしてそう考えたのかな？

Cさんは
意見がわかれてしまいましたね。

「Aさんは自分の言いたいことをちゃんと
言っているので、さわやかさんだと思います」

うそをついているから
おとあつさんだと思います

わたしは
いはりやさんに
賛成です

「遊びたくないから遊べないというのは
自分勝手なので、いはりやさんだと思います」

議論の途中でチャイムがなり、先生がまとめをしました。Cさんを「いはりやさん」と考えた子どもの中から「おかしいよ」の声があがり、次回続きをすることになりました。コミュニケーションの学習では、自分なりの考えを持つことが大切です。



Aさん、Bさん、Cさん、Dさんの話し方がどの話し方にあたるかを、全員が挙手しました。Aさんは「さわやかさん」、Bさんは「おどおどさん」、Dさんは「いはりやさん」という意見が多数を占めました。Cさんは、「いはりやさん」と「おどおどさん」に意見がわれてしまいました。子どもたちは、いろいろな見方があることを学んでいきます。